

2023年12月28日

当院で言語聴覚療法の治療を受けられた 患者さんならびにご家族へ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせです

課題名：注意欠陥多動性障害（ADHD）の対人コミュニケーション行動の特徴と訓練効果
ー対人コミュニケーション行動観察フォーマット（FOSCOM）からの検討ー

◆研究の目的と概要◆

当院では、就学前の注意欠陥多動性障害（ADHD）の対人コミュニケーション行動の特徴および訓練効果を明らかにすることの目的で、言語聴覚療法の患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。

この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2015年4月から、2021年3月までの間に、注意欠陥多動性障害、自閉症スペクトラムなどの発達障害と診断もしくは疑われた方や、言語発達遅滞と診断された方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、在胎週数、出生体重、各種検査（発達検査、知能検査、言語発達検査）の結果、対人コミュニケーション行動に関する治療経過

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2017年年1月10日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

* この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。

* この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、

以下の問い合わせ先までご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 リバーサイド

地域医療リハビリテーション室 研究責任者 松尾 基史

TEL： 086-448-1111（代表）、 FAX： 0086-448-1251（代表）

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明